

じんけん探訪67

部落問題に対する高齢者の意識

2017年7月に三豊市で実施された「人権・同和問題に関する意識調査」の報告書が2018年2月に発表されました。その中身を詳細にみていくと、いくつかの課題が鮮明に浮かび上がってきます。設問の14は「部落差別の解決」という項目で、「同和問題（部落問題）の解決に対するあなたの態度はいかがですか。次の中から一つ選んでください。」というものです。選択肢が6つあって①自分ではどうしようもない問題だから、成り行きに任せるより仕方がないと思う。
②自分ではどうしようもない問題だから、誰かしかるべき人が解決してくれると思う。
③自分もこの問題の解決に努力すべきだと思う。
④どのようにしようが差別はなくならない。
⑤よく考えていない。
⑥その他
となっていました。この設問のより望ましい答えは、もちろん③です。③と答えた人は2番目に多く、19.4%、一番多かったのは①で35.5%という少々つらい結果でした。しかし、ここで見逃してはいけな

いことがあります。それはこの設問の年齢別の解答割合です。③と答えた割合が、一番多かったのが80歳以上の年代で、24.5%です。次に多いのが70～79歳で21.4%、3番目が60～69歳の20.0%という結果でした。年齢が高いほど「部落問題の解決のために自分も努力する」と考えている人が多いということです。研修会やアンケートなどでは、「高齢者が偏見や差別意識を根強く持っている、それが後の世代に伝わる、そのことが部落差別が続く原因となっている」とよく言われます。しかし、実際はそうばかりではありません。「部落差別をなくすために、主体的に動かなければならない」と考えているのは、学校で人権・同和教育を受けた世代（18歳～49歳）よりも、受けなかった世代（60歳以上）の方が多いためです。これは学校の人権・同和教育は、差別をなくす行動・意欲を喚起し定着させるという面で課題があるということでもあります。このような結果が出たことは、高齢者が実際に「部落差別」を身近に体験しているからではないかと分析しています。実際の体験を通してその不当さを感じ、なくさなければならぬと本気で考えている高齢者も多いのです。

▼問い合わせ

人権教育課

☎73・3133

地域おこし協力隊 活動レポート No.2



さわい げんき 澤井 元気

財田で「思い出」をテーマにワークショップを開催しました
皆さんこんにちは！昨年7月に着任し、山本・財田地域を中心に活動している地域おこし協力隊の澤井元気です。着任してからは、主にイベントのお手伝いをさせていただきながら、地域の皆様との活動を開始しました。

10月には、財田町内の高齢者の交流の場である「こすもす広場」で、思い出の写真を木製の板に転写するワークショップを開催しました。参加した皆さんが完成した作品を見て「懐かしいなあ」と思い出話を花を咲かせ、喜んで様子を見て、すごく嬉しく感じました。こうして、地域の皆さんが温かく受け入れてくださるおかげで、活動の幅も広がってきました。

現在は、放置竹林問題に関心を持っています。実際に、山本町内において、竹を伐採する作業を手伝わせてもらったり、子どもたちと竹細工づくりに挑戦したりしました。竹資源の新しい有効活用などについて、もっと何かできないかを考えていければと思っています。

今後も、地域の皆さんと一緒に課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



①財田町の「こすもす広場」でワークショップを開催。カラー印刷した写真を板に転写していきました
②出来上がった作品をみんなで鑑賞！「うわあ懐かしい！」
③④出来上がった作品



◀山本町神田地域の竹林で竹の伐採作業をお手伝いしました

三豊市青少年健全育成市民会議
平成30年度「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」
絵画・標語の優秀作品 ※敬称略

絵画

最優秀
小学校・低学年の部 比地小学校 3年 中下 心結
小学校・高学年の部 財田小学校 6年 藤井 晶規
中学校の部 高瀬中学校 2年 齋賀 結希乃

優秀
小学校・低学年の部 麻小学校 2年 遠山 夏海
小学校・低学年の部 下高瀬小学校 3年 岩田 希乃花
小学校・高学年の部 麻小学校 4年 川崎 友羅
小学校・高学年の部 比地小学校 5年 萬城 志温
中学校の部 高瀬中学校 2年 近藤 愛美

標語

最優秀
「見て見て スマホじゃなくて ぼくのかお」
上高野小学校 3年 大西 巧人
「打ち明けて 家族の数だけ 知恵がある」
三野津中学校 3年 島本 七海

優秀
「動き出せ ぼくらの夢への 第一歩」
曾保小学校 6年 鴨田 陵平
「あいさつで その日の始まりに いろどりを」
桑山小学校 6年 高橋 真澄
「あいさつが 生み出す笑顔と 地域の輪」
仁尾中学校 3年 平尾 悠日
「零から一歩 広がる未来は 自分で創る」
和光中学校 3年 若倉 慶登

▶問い合わせ 少年育成センター ☎73-3136

ご食
るべ
旬
ナビ
Vol. 8
キウイフルーツ

みよの旬を
いただきます！

さぬきキウイフルーツ
Sannuki Kiwifruit

キウイフルーツで手軽に美味しく栄養摂取！
～毎日の朝食やおやつにも最適～

キウイフルーツはほとんどが11月に旬を迎えますが、1月が旬の品種もあります。それが『香緑』。俵型の形をしていて、糖度15～17度で甘みが強く、酸味が穏やかなのが特徴です。県が推奨する「さぬき漬フルーツ」の対象品種であり、市内でも多く栽培されています。

「キウイの食べ頃は、軽く握ったときに少しへこみ、鼻の頭くらいの柔らかさになった頃です。20℃前後の室温で追熟させると柔らかく、甘くなります。食べる前に数時間冷やすと美味しいですよ」とおすすめの食べ方を教えてくれたのは、JA香川県三豊キウイフルーツ部会部会長の奈尾光弘さん。奈尾さんは、キウイづくりに携わって約30年！今では、4品種を作付けし、高瀬町内の産直市に出荷しています。

Point!
お肉料理のデザートとして食べると消化に◎ チーズとの相性もよく、サラダに入れるのがおすすめ!

キウイフルーツのサイズ比較

（左から）さぬきキウいっこ・香料・さぬきエンジェル
スイート・香緑・さぬきゴールド

キウイには、ビタミンCやビタミンE、食物繊維、カリウムなど、健康維持に必要な栄養素がぎゅぎゅ詰まっています。不足しがちな食物繊維をキウイから摂取しましょう！皮をむく時間がないときは、半分に切って、スプーンを使うと気軽に食べられますよ。

▶問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040